

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2025年 9月11日

資源循環と障がい者雇用を通じたサステナブルな贈答文化を創出 帝人ソレイユが胡蝶蘭の回収・再利用サービスを開始

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）の特例子会社(*)である帝人ソレイユ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：古川 寛）は、枯れた贈答用胡蝶蘭を回収し、リユースおよびリサイクルするサービスを9月11日より本格的に開始します。日本国内の特例子会社において、リユース・リサイクルまで担う胡蝶蘭の回収・引取サービスを展開するのは帝人ソレイユが初めてです。

(*)「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がい者雇用を目的に設立する子会社のこと。

1. 背景・経緯

- (1) 帝人ソレイユは 2019 年に設立された帝人の特例子会社で、現在は 41 名の障がい者が勤務しています。帝人グループの国内拠点におけるオフィスサポート事業や、農産物を生産・販売する農業事業を展開しており、2020 年 10 月からは、障がい者の雇用機会と収益の拡大を図るため、千葉県我孫子市にある自社農場「ポレポレファーム」において胡蝶蘭の生産・販売を開始しました。
- (2) 胡蝶蘭の生産には、水やりのような単純な作業から最終製品の「仕立て」などの複雑な作業まで、多様な工程があります。帝人ソレイユでは、各従業員のハンディキャップや特性を活かせる業務をそれぞれに割り当てることで、高い生産性のみならず、市場平均よりも高単価で取引される高品質を実現しています。また、この取り組みは 2022 年に農林水産省「ノウフクアワード」を受賞するなど、障がい者雇用のモデルケースのひとつとして高い評価を受けています。



胡蝶蘭生産の様子（水やり作業）



帝人ソレイユの胡蝶蘭

- (3) 胡蝶蘭の贈答は、日本の慶弔文化として広く根付いている一方で、1～3カ月ほどの観賞期間を過ぎた後は廃棄されてしまうのが一般的です。贈答用胡蝶蘭は陶器やプラスチック製の鉢、金属製の支柱、枯れた植物部分など様々なパーツで構成されているため、分別の手間や、産業廃棄物としての処分費用がかかり、贈られた側の負担になるという課題があります。また近年では、贈答製品においてもサステナビリティが求められており、胡蝶蘭の資源再活用に対する関心が贈る側・贈られる側の双方から高まっています。
- (4) こうした課題に対して、帝人ソレイユは、枯れてしまった胡蝶蘭を贈答先から回収・分別し、再利用するサービスを日本の特例子会社として初めて開始します。まずは東京都全域と、神奈川県横浜市および川崎市の一部区域を対象地域としてスタートし、自社の胡蝶蘭を納品した贈答先から他社製品を含めて1鉢あたり3,300円(税込)で回収します。回収した胡蝶蘭は自社農場「ポレポレファーム」で焼却し、その灰を自社農園において野菜栽培用の肥料として活用するとともに、鉢や金属製の支柱などの部品はリユースまたはリサイクルします。
- (5) 贈答先での廃棄負担を軽減するとともに、廃棄される胡蝶蘭を資源として循環させることで、日本独自の慶弔文化である胡蝶蘭の贈答がよりサステナブルなものとなり、また、障がい者の雇用拡大にもつながります。これにより、贈る側・贈られる側の双方にとって心地よい贈答体験を提供します。



胡蝶蘭を処理するための専用焼却炉



胡蝶蘭の焼却灰を肥料として活用

2. 今後の展開

- (1) 帝人ソレイユは今後、サービスの運用体制を充実させ、将来的な全国展開を視野に、対象地域の拡大を進めていきます。また、自社製品がない場合の引き取りについても検討を進めていきます。
- (2) 帝人は、年齢や性別、経歴、障がいの有無、国籍・人種などに関わらず、全ての社員が最大限に活躍できる企業を目指してダイバーシティを推進しており、今後も障がいのある方の雇用を促進することで社会に貢献していきます。

以 上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055